

## 172) 思い出色に染まってく

<sup>かな</sup> 哀しいことに出逢うたび <sup>しおさい</sup> この潮騒を聞きに来た  
人と別れた哀しさを 海の響きにぶつけたら  
涙は風に飛ばされて 心が少し軽くなる  
<sup>さいげつ</sup> 歳月に包まれて 過去の日は遠ざかり  
喜びも哀しみも 思い出色に染まってく

嬉しいことに出逢うたび この砂浜を走ってた  
魔法の術を手に入れて 得意顔したわたしなの  
<sup>ひ</sup> 陽が沈んでもそこにいて 月の光と <sup>たわむ</sup> 戯れた  
歳月に包まれて 過去の日は遠ざかり  
喜びも哀しみも 思い出色に染まってく

苦しいことに出逢うたび この学校の庭にきた  
破れた恋の空しさに 昔の彼に逢いたくて  
ひたむきだった若き日を 心の底に探してた  
歳月に包まれて 過去の日は遠ざかり  
喜びも哀しみも 思い出色に染まってく

大人になって哀しみも 嬉しいこともなくなった  
後ろ姿の寂しげな 大人なんかにならないと  
<sup>かたいじ</sup> 片意地はって生きていた 少女時代が懐かしい  
歳月に包まれて 過去の日は遠ざかり  
喜びも哀しみも 思い出色に染まってく